

第9回 防災コンクール開催

第9回 防災コンクールを令和元年11月30日に、五日市会館で開催しました。防災・安心地域委員会では、日頃から地域住民の防災意識の高揚と地域の防災対策強化に努めています。第9回となるこの防災コンクールは、災害対応力の向上を図ることを目的とし、毎年実施しています。

昨年度からは中学校の部を設け、今回は市内5中学校からの8チームを含め、全26チームが参加し、地震発生時の初期対応、通報訓練、初期消火活動、救出や手当てなどの防災技術を披露しました。

競技の審査については、秋川消防署が行い、各選手の採点と計測タイムの総合的評価により、上位チームを表彰しています。

一般の部は、女性だけで構成されたチームである増戸B(PTA)が優勝し、中学生の部では、五日市中学校がAチーム、Bチームともに上位に入る優秀な成績を納めました。この経験を活かし、日々の地域防災力の向上や有事の際の災害対応に役立てていただけたらと思います。

一般の部、中学生の部の順位は以下の通りです。

一般の部

- 第1位 増戸B(PTA)
- 第2位 増戸C(大上・中平・網代)
- 第3位 増戸A(防災リーダー)
- 第3位 戸倉A(戸倉東部自治会)
- 第5位 戸倉B(戸倉西部自治会)

中学生の部

- 第1位 五日市中学校B
- 第2位 増戸中学校A
- 第3位 五日市中学校A



自主防災組織活動報告 東秋留地区防災・安心地域委員会



令和元年5月に小川町内会と小川東町内会で避難所体験共同防災訓練を実施しました。その中の「ファースト・ミッション・ボックス」について、令和2年2月の自主防災組織活動発表会で発表しました。

大地震が発生した際には、市の職員や町内会・自治会の役員等が避難所となる施設にたどり着けるか分かりません。

「ファースト・ミッション・ボックス」は、最初に来た4名が開設方法を何も知らなくとも、カードの指示に従って実行していくと、30分程度で避難所の開設ができてしまうものです。避難所を開設するために必要な指示が記載してあるファースト・ミッション・カード

や避難所開設・運営に必要な用具が、「ファースト・ミッション・ボックス」に格納されてます。

避難所開設後の運営では、体調不良者の対応など、実際に想定される問題に対して各活動班に対応してもらった訓練も行いました。

自主防災組織活動発表会では、訓練の様子が分かる写真を交え、実際に体験した内容について発表しました。みなさまも体験していただける機会があれば、ぜひ参加してみてください。

小川町内会



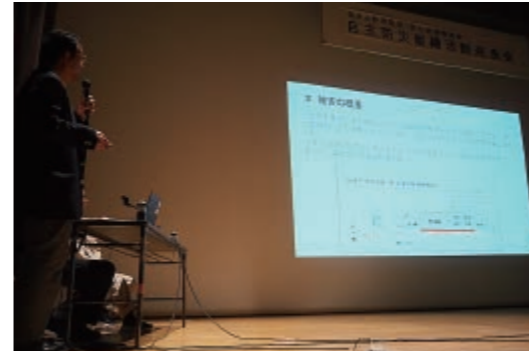
そなえ防災

あきる野市防災・安心地域委員会

令和2年3月31日
(第15号)
発行責任者
防災・安心地域委員会
本部長 大久保 春彦

山田下分自治会、社会福祉協議会が特別講演

台風第19号での体験談を発表 自主防災組織活動発表会



↑山田下分自治会発表の様子

令和2年2月15日、秋川ふれあいセンターふれあいホールにおいて、防災・安心地域委員会主催「自主防災組織活動発表会」を開催しました。各地区の自主防災組織の代表が防災活動について発表しました。

昨年度も行った自主防災組織活動発表会ですが、今回は7地区の自主防災組織だけではなく、昨年10月の台風第19号で被害を受けた山田下分自治会とボランティア活動に取り組んだ、あきる野市社会福祉協議会にも参加していただき、全9団体での発表となりました。

当日は、各地区の自主防災組織の役員や地域防災リーダーなど、多くの方が出席するとともに、あきる野市長をはじめ、多くの来賓の皆様にもおいでいただきました。

台風第19号では、河川の氾濫や堤防決壊、土砂崩れなどにより、建物の浸水、道路崩落、橋梁の流出など大きな被害が発生したことから、台風に関連した活動発表が多くありました。浸水被害を受けた山田下分自治会の発表では、台風で風雨が強い中での安否確認の難しさ、台風が過ぎた後の災害ゴミなどの片付け、ボランティアに来てくださった方々の調整、怪しい訪問者による勧誘の防止に受付を設置したことなど、実災害を通じた貴重な経験を聞くことが出来ました。

他にもドローンで空から地域を撮影し、危険箇所を確認する発表、避難所運営訓練、女性の視点を考慮した地域防災活動、まち歩きをして危険箇所を把握し、地図の中に落とし込む活動、ハザードマップと実災害を照らし合わせて確認をする活動、写真で台風の前後を比較して被害の大きさを確認した活動など、今後の活動の参考となる、とても充実した活動発表会になりました。



↑山田下分自治会の発表で使用された写真

	発表した団体名	発表内容
1	落合自治会：小宮地区	台風第19号後のまち歩きについて
2	南岸5自治会 (網代、高尾、留原、中村、小和田で構成)：五日市地区	DVD「防災の絆」上映
3	戸倉地区防災・安心地域委員会：戸倉地区	避難所運営訓練等について
4	草花町内会：多西地区	「地域力」向上
5	下・中・上引田町内会 (下引田、中引田、上引田で構成)：西秋留地区	河川の危険確認等について
6	小川・小川東町内会：東秋留地区	ファースト・ミッション・ボックスについて ※4ページ自主防災活動報告の中で説明あり。
7	増戸地区防災・安心地域委員会女性部：増戸地区	「女性の視点を考慮した地域防災活動」
8	山田下分自治会	台風19号による水害への対応について
9	社会福祉協議会	台風19号被害に伴う災害ボランティア活動

※順番は発表順

保存版 風水害時に避難するときのポイント

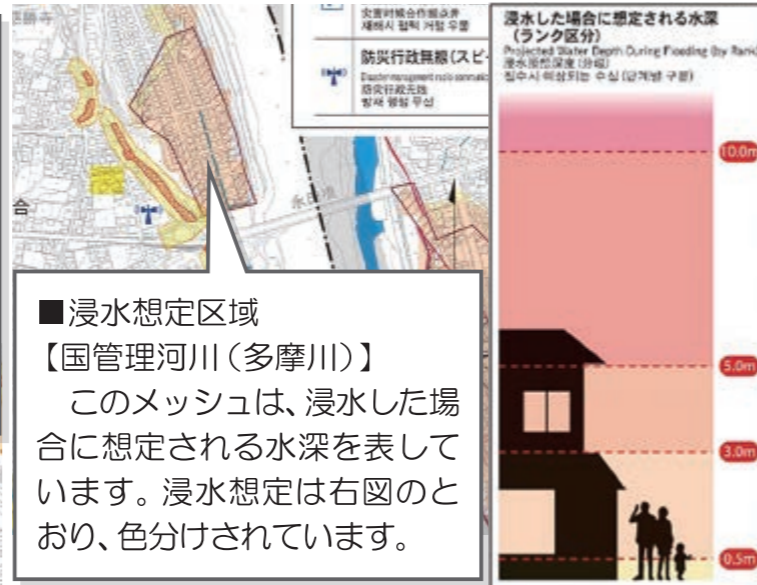
昨年10月の台風第19号は、あきる野市にも甚大な被害をもたらしました。市内各所では建物の浸水、道路や橋の崩落、河川の氾濫、堤防の決壊、土砂崩れ等が発生し、多くの方が避難所等に避難されました。避難する際に、どのような情報を根拠に避難すればよいか、避難する必要があるのか、避難する時には何を持っていったらよいのかなど、少なからず疑問を抱いた方がいらっしゃるのではないのでしょうか。今回の保存版では風水害時に、避難するときのポイントについてまとめましたので、ぜひ、ご覧ください。

ハザードマップから情報収集

■急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

薄い黄色の範囲は、土砂災害警戒区域のうち急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）に該当し、土砂災害の恐れがある区域です。

オレンジ色の範囲は土砂災害特別警戒区域のうち急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）に該当し、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れがある区域です。



■浸水想定区域

【都管理河川(秋川・平井川)】

このメッシュは、浸水した場合に想定される水深を表しています。浸水想定は右下図のとおり、色分けされています。

■土石流

オレンジ色で囲まれた内側の範囲は土砂災害警戒区域のうち土石流に該当し、土砂災害の恐れがある区域です。

赤色の部分は、土砂災害特別警戒区域のうち土石流に該当し、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れがある区域です。



上記の図は、ハザードマップに記載されているものの一部です。土砂災害警戒区域、浸水想定区域（国・都の管理河川）等の区域やその付近の方は、早めの避難を心がける必要があります。平常時から自宅の場所をハザードマップ等で確認して「避難が必要かどうか」「どのような状況になったら避難するのか」などを話し合い、決めておくことが大切です。また、避難することがかえって危険な状況となった場合は、無理に避難せず、できるだけ自宅内の安全な場所に避難するようにしてください。

非常持ち出し品の準備

非常持ち出し品(例)

品目	例示
<input type="checkbox"/> 貴重品	現金、預貯金通帳、免許証、保険証、印鑑など
<input type="checkbox"/> 非常食品	乾パンや缶詰など火を通さずに食べられるもの
<input type="checkbox"/> 飲料水	持ち運びが可能なペットボトルなど
<input type="checkbox"/> 応急医療品	常備薬、ばんそうこう、マスク、その他医療品など
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	1人1個、予備の電池も
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	予備の電池も
<input type="checkbox"/> 携帯電話・スマートフォン	予備のバッテリーも
<input type="checkbox"/> 衣類・タオル	上着、下着、靴下などの衣類、軍手、タオル、雨具など
<input type="checkbox"/> その他	ティッシュペーパー、ウエットティッシュ、ビニール袋、石けん、生理用品、紙おむつ、毛布など

上記の表は、非常持ち出し品の一例になります。他にも自分や家族の中で必要なものがあれば、適宜追加するようにしましょう。

非常食品には、上記のものだけでなく、さまざまな種類があります。平常時に試食しておくことで、自分の好みの食品を準備することもできます。

避難所等には、必ずしも備蓄品や食料品があるとは限りません。避難する時に持ち出すものを平常時から各自で準備しておき、持ち出しやすい場所に置いて備えておきましょう。



あきる野市メール配信サービス

市では、避難情報や開設する避難所の情報などの防災情報等を「あきる野市メール配信サービス」で配信しています。

災害から身を守るには正確な情報を迅速に入手することが大切です。ぜひ、登録をしましょう。

市役所に来庁いただければ、登録のサポートも行います。

登録は、右図のコードを読み取り、サイトにアクセスし、空メールを送信してください。



空メール用コード

コードの読み取りができない場合には、下記のアドレスに空メールを送信してください。

t-akiruno@sg-m.jp